

一、例のように次のそれぞれの文の中の間違ったところを指摘し、正しい表現に直せ。(2% × 10)

例：公館駅からMR Tに乗って台北駅でバスに乗り換えてください。

答：乗り換えてください → 乗り換えてください

1、台湾のバナナはおいしくて安いから、いつも食べているんです。

2、A：趣味は何ですか。

B：私の趣味は骨董品を集めます。

3、面白そうなゲームですね。でもうちの子に見せないでください。あの子が見たら欲しがっていますから。

4、客：すみません。速達をやめて、書留にします。後いくら追加料金を払わなければいけませんか。

局員：計算してみます。少々お待ちください。

5、A：台湾の一番南にある名勝地なんんですけど、鵝鸞鼻へ行くことがありますか。

B：ないです。ぜひ一度行ってみたいですね。

6、遠慮しなくて食べたいだけ食べてください。

7、A：お荷物、重たそうですね。お手伝いしませんか。

B：すみません。お願ひします。

8、試験を控えているので、どこかへ遊びに行こうにも行かない。

9、父が帰らないまで晩御飯を食べません。

10、通行人：あのー、上野駅へ行きたいですが、……。

警察官：えーと、50メートルぐらい先に地下鉄の乗り場がありますから、あそこから地下鉄に乗ってください。

二、次のそれぞれの文の括弧に入れるのに最も適当な言葉を各々の文の中の【(イ) ~ (ニ)】から選び、記号で答えよ。(2% × 10)

1、息子には大学に受かるってほしいが、受かったら( )お金が要って大変だ。

【(イ) 受かるで (ロ) 受かったで (ハ) 受かる (ニ) 受かると】

2、ランチにはコーヒー( )紅茶がついていますが、どちらになさいますか。

【(イ) や (ロ) と (ハ) か (ニ) に】

3、これ、( )ひとつ食べてみましょうか。

【(イ) おいしそうですね (ロ) おいしいようですね (ハ) おいしいですね (ニ) おいしいらしいですね】。

- 4、A：もし宝くじで一等一億円に（ ）、何をしたいですか。  
B：まず世界旅行をしたいですね。  
【(イ) 当たると (ロ) 当たれば (ハ) 当たったら (ニ) 当たるなら】
- 5、七時（ ）会合がありますので、そろそろ失礼させていただきます。  
【(イ) に (ロ) で (ハ) から (ニ) まで】
- 6、寝ている（ ）、泥棒に入られました。  
【(イ) あいだに (ロ) あいだで (ハ) あいだ (ニ) あいだは】
- 7、こんなすっぱいりんご、とても食べられた（ ）じゃない。  
【(イ) の (ロ) こと (ハ) もの (ニ) はず】
- 8、明日は入学試験ですから、のんびりとテレビを見ては（ ）。  
【(イ) いません (ロ) おきません (ハ) ありません (ニ) いられません】
- 9、風邪の時は充分睡眠をとるに（ ）。  
【(イ) すぎない (ロ) 越したことはない (ハ) ちがいない (ニ) いい】
- 10、軽井沢は古くから避暑地（ ）人気がある。  
【(イ) として (ロ) にして (ハ) としては (ニ) にしては】

## 三、次のそれぞれの文の括弧の中に適当な授受動詞を入れよ。（2%×10）

- 1、ホテルの従業員の中にも、片言の日本語をしゃべるのがいる。日本語でいさつをすると、日本人の宿泊客がチップをはずんで（ ）ということに気づいた結果かもしれない。
- 2、料理を作つてみんなに食べて（ ）ます。
- 3、私が受付へ行って説明書をもらってきて（ ）ましょうか。
- 4、毎日暑いですね。一雨降って（ ）といいですね。
- 5、鈴木：もしもし、5時ごろガスレンジを見に来て（ ）はずなんですけど、まだですか。  
係員：今そちらに向かっているところです。申し訳ございませんが、後十分ほどお待ちください。
- 6、試験の前に友達に頼んでノートを見せて（ ）ました。
- 7、姉：どうしてそんなにたくさんお金を持っているの。  
妹：おじさんに（ ）たの。
- 8、福田：会議室のかぎが掛かっていますね。  
佐藤：じゃ、清水さんに言って、開けて（ ）ましょう。
- 9、犬を公園で放して（ ）たら、うれしそうに走り回っていた。
- 10、この野郎。よくも陰で人の悪口を言って（ ）たな。

## 四、下の文章を読んで、質間に答えよ。(2%×6)

日本人は、盆栽や坪庭に見られる(ア)“縮み思考”的特徴があつて、いろいろな動作や時間を一つの「形」にして一瞬に縮めることを努力する。人間の表情も同様で、日本人の顔は能面に近いといつのである。喜怒哀樂を一つの瞬間に凝縮して、その中で段々と中間的な表情に(A)(変えて )。

中国人から見ると、能面の表情は“冰の表情”と表現することができる。数十、数百倍の動きを、可能性を秘めた(イ)一点に静止させる。あの「静」の中の「動」は、まさに日本人の顔(ウ)あるのだ。能面のような、捕らえようのない抽象的な表情は、日本人にとっては“美の笑い”なのだろうと思う。

日本人は、表情だけでは、泣いているのか笑っているのか正確に汲み取ることができない。ある中国人は「日本人は顔で笑って心で泣いている」と言うのである。日本人には、特有の感情の表出、外と内との使い分けがある。しかし、われわれ中国人が(エ)するのは、日本人の心からの笑いである。

とくに、あの薄笑いは禁物である。日本人は社交性が(B)(欠けて )のに変にお世辞がうまい。何を考えているのか捕らえどころがない。その薄笑いを見て、中国人はいかにも軽蔑されていると思ってしまうのだ。

問-1 (ア)に入れるのに、最も適当な語句を次の【】内から選び、記号で答えよ。

- 【①ほど ②ぐらい ③から ④ように ⑤らしい】

問-2 (イ)に入れるのに、最も適当な語句を次の【】内から選び、記号で答えよ。

- 【①だけ ②しか ③まま ④ばかり ⑤はず】

問-3 (ウ)に入れるのに、最も適当な語句を次の【】内から選び、記号で答えよ。

- 【①が ②に ③は ④でも ⑤さえ】

問-4 (エ)に入れるのに、最も適当な語句を次の【】内から選び、記号で答えよ。

- 【①歓迎 ②迷惑 ③疑惑 ④困惑 ⑤不思議】

問-5 (A)(変えて )に接続する語を【】より選び、記号で答えよ。

- 【①いく ②ある ③おく ④みる ⑤あげる】

問-6 (B)(欠けて )に接続する語を【】より選び、記号で答えよ。

- 【①くる ②しまう ③ある ④くれる ⑤いる】

## 五、下の文章を読んで以下の質間に答えよ。(2% × 14)

人はなぜ本を読むのだろうか。(1)キヨウヨウ、趣味、(2)ゴラクのためといろいろだろうが、最も多い答えは「おもしろいから」であろう。元来、「趣味」とは「当人にとっておもしろいこと」を原点としている。だれしも「おもしろい本」を探し求めている。よく(A)「文学作品、只要好看就好」と言われるが、この「おもしろい」が(a)十人十色、人によって違うのである。そして、往々にして人は、(b)単純明快なおもしろさよりも、少々造作のかかる、厄介なおもしろさを好むものである。理解するのに骨の折れそうな、晦渋きわまりない形而上詩や、(c)難解な哲学論文を思わせるような(3)シュウキヨウ小説に「おもしろさ」を発見する読者の存在が、(A)「これ」を立証している。もちろん、対象とする作品によることはいうまでもないが、通り一遍の読みでは「おもしろさ」を見出すことはできない。「文学研究」のための(d)専門的な読書とまではいわないが、「おもしろさ」を見つけるにふさわしい「読み方」はある。それは何も「読み方」に(e)遵守しなければならない(4)キソクがあるというのではない。(5)キホンテキには(B)「愛怎麼看、就怎麼看」のである。しかし、少なくとも「深い読み」と「浅い読み」があることは(f)否定できない。

問 - 1 (1)～(5)のカタカナを漢字に書き換えよ。

問 - 2 (a)～(f)の漢字の読み方を書け。

問 - 3 (A)「これ」は具体的には何を指すか。文中の言葉を使って答えよ。

問 - 4 (A)「文学作品、只要好看就好」の訳文として適当なものを下から選び、記号で答えよ。

- ①「文学作品は、おもしろくてもよい」
- ②「文学作品は、おもしろければよい」
- ③「文学作品は、おもしろいほどよい」
- ④「文学作品は、おもしろいのがよい」
- ⑤「文学作品は、おもしろいほうがよい」

問 - 5 (B)「愛怎麼看、就怎麼看」の訳文として適当なものを下から選び、記号で答えよ。

- ①「好きで、読めばよい」
- ②「好きなら、読めばよい」
- ③「好きなように、読めばよい」
- ④「好きだったら、読めばよい」
- ⑤「好きだと、読めばよい」